

## 基本政策 1 自立した生活を送ることができる

### 【基本政策の方向性】

「障がいのある人もない人も、ともに生き、ともに支えあう“まち”ふじみ」を基本理念として、障がいのある人の尊厳と権利が保障され、地域で自立して生活できる“まち”を目指します。

### 5年後の目指す姿

「地域でその人らしい生活を送ることができる」

障がいのある人が、様々な障がい福祉サービスを利用しながら、自分の持てる力を活かし、その人に合った生活が送れることを目指します。

【数値目標】	現状値	目標値
暮らしやすい（「どちらかというと」も含む）人の割合 （障がい者福祉についての実態調査）	42.1%（H29）⇒	60.0%（R7）

### 基本施策

#### 1－1 障がい福祉サービスの充実

必要なサービス提供基盤を充実させるなど支援体制を強化し、障がいのある人が安心して地域で生活できることを目指し、障がい福祉サービスを充実します。

【KPI】	現状値	目標値
自宅・グループホームで暮らしたい人の割合 （障がい者福祉についての実態調査）	70.9%（H29）⇒	80.0%（R7）

#### 【主な取組】 地域で自立した生活の促進

保健、医療、福祉、その他地域の関係者間の連携を強化し、精神科病院に長期入院している方や、障がい者施設に長期入所している方が、その人に合った地域での自立した生活を実現していけるよう取り組みます。

【KSF】	現状値	目標値
社会的入院患者の退院数	0人（R1）⇒	1人以上/年（R7）

## 1-2 相談体制の充実

地域で生活する中で、障がいのある人が利用できる支援の情報が得られ、地域で孤立することなく、困ったことが相談できる体制の充実を目指します。

【KPI】	現状値	目標値
どこでどんな相談ができるかわからない人の割合 (障がい者福祉についての実態調査)	23.5% (H29) ⇒	10.0% (R7)

## 【主な取組】 総合的な相談支援体制の強化

富士見市障害者施策推進協議会において、富士見市障がい者基幹相談支援センター<sup>1</sup>をはじめ、各相談支援事業所の活動について検証し、総合的な相談支援体制を強化します。

【KSF】	現状値	目標値
富士見市障害者施策推進協議会の相談支援部 会の開催	3 回/年 (R1) ⇒	3 回/年以上 (R7)

## 1-3 雇用・就労支援の充実

障がい特性やその人のもつ能力に応じた仕事に就き、継続して仕事が続けられるよう、支援するとともに、雇用の拡大を目指します。

【KPI】	現状値	目標値
就労支援センター登録者の一般就労と福祉的就労者数	延べ 182 人(R1) ⇒	延べ 364 人(R7)

## 【主な取組】 障がい者の就労機会の充実

就労に関する相談及び助言、職場定着支援、事業所の開拓、離職後の調整、企業等との調整、日常生活面に関しての助言などにより、障がい者の就労機会を充実します。

【KSF】	現状値	目標値
障がい者就労支援センターの相談件数	538 人/年 (R1) ⇒	1,087 人/年 (R7)

## 関連する SDGs ゴール



障がいのある人が、生産的な雇用や働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)につながる取組を促進します。 関連ターゲット (8-5)



障がい、その他の状況を理由とした、社会的、経済的不平等を是正します。  
関連ターゲット (10-2)

## 関連計画等

富士見市障がい者支援計画 (令和 3 年度～令和 5 年度)

## 関連部署

健康福祉部 障がい福祉課

<sup>1</sup> 障がい者の日常生活での困りごとや悩み事、障がい福祉サービスの利用についてなど、さまざまな相談に応じる機関